

再生治療に対する費用についての資料

再生医療費用

	アストラ	ハイオーセン
インプラント	¥280,000	¥224,000
アバットメント	ジルコニア ¥90,000 チタン ¥70,000	ジルコニア ¥72,000 チタン ¥56,000
上部構造	フルジルコ ¥200,000 e-max クラウン ¥160,000 FMC ¥120,000	同左
CT 撮影・サージカルガイド	¥100,000	同左
筋肉内及び静脈内鎮静法	静注 ¥70,000 筋注 ¥30,000	同左
CGF	¥33,000	同左
サイナスリフト	片顎 ¥300,000	同左
ソケットリフト	1 本 ¥100,000	同左
人工骨	0.5 g ¥50,000	同左

CGF【完全自己血液由来フィブリンゲル】

CGFとは傷の治りを早くするフィブリンゲルという物質を人工的に作製したもので、患者さんご本人から採血された血液（10cc）を、遠心分離機にかけて作製します。

患者さんから採血した血液に、添加物を一切加えずに作製できます。完全自己血液由来のフィブリン【ゲルの為骨の少ないところに使用すると再生が早くなり、治癒期間が短縮されるというメリットがあります。

費用 ¥33,000

表中の説明は下記の通りになります

【インプラントの特徴】

- ・両隣の歯を削らなくてよい
- ・自分の歯と変わらない感覚で噛むことができ、異物感がない。
- ・天然歯に近い状況を再現できる。
- ・外科処置が必要となる。

【このような方にオススメ】

- ・入れ歯が上手く合わない。
- ・健康な歯まで削るのに抵抗がある。

・より自分の歯に近い状態で、食べ物感覚や味が分かるようになりたい。

【アバットメントの特徴】

インプラント体と上部構造をつなぐ土台のことをアバットメントといいます。

チタン製のものや白いジルコニア製のものがあります。機能的にはあまり差はありませんが、審美性を追求する場合はジルコニアをお勧めいたします。

【上部構造の特徴】

強度と美しさを誇るジルコニア性の最上質のかぶせものです。

変色や摩耗がほとんどなく、お手入れさえきちんとしてれば生涯歯を美しく保つことが可能で、自信を持っておすすめできる一品です。特に見えやすい前歯や小臼歯におすすめです。

フルジルコニア

強度と美しさを誇るジルコニア性の最上質のかぶせものです。

変色や摩耗がほとんどなく、お手入れさえきちんとしてれば生涯歯を美しく保つことが可能で、自信を持っておすすめできる一品です。特に見えやすい前歯や小臼歯におすすめです。

e-max クラウン

ジルコニアのブロックを削りだして作ります。

強度は最も強く、咬み合わせが強い方や歯ぎしり、食いしばりのある方へ有効です。色は3色の中からお選びいただく形で、患者さんの歯の色に合わせることはできないタイプのセラミックなので特に奥歯に適しています。

FMC

インプラントはしたいけどとにかく費用を安く済ませたい方にお勧めの上部構造です。咬む機能を回復することはできますが、見た目が銀歯なものと、表面から金属が腐食し溶け出してくるため、金属アレルギーを引き起こす可能性が考えられます。

【CT撮影・サージカルガイド作成】

インプラントを埋め込むためには、ドリルで顎の骨に穴を開ける必要があります。

サージカルガイドとはドリルを適切な位置に導くためのインプラント手術支援用のガイドです。サージカルステントで、CT撮影した患者様の顎の骨の3次元データをもとに最適な埋め込み位置をシミュレーションし、高い精度のサージカルガイドを製作します。これにより、安心・安全なインプラント治療を実現します。

【筋肉内及び静脈内鎮静法】

腕の筋肉・静脈にごく少量のお薬を注入し、ぼんやり、うとうとと眠っている状態で治療を受けていただけます。

意識ははっきりとあり、お口の開け閉めなどの治療上は問題はありません。

この筋肉・静脈内鎮静法は全身麻酔とは異なり、治療後は普段通りの生活をする事が出来ますし、血圧などにも影響しませんので非常に安全で楽な鎮静法です。

治療中は心電図や血圧などの全身状態をモニターでチェックしながら行います。

【サイナスリフト】

サイナスリフト法とは上顎洞底部を持ち上げ、多量の骨を作る治療法です。

上顎洞底部から歯槽骨の先端までの垂直的な骨の量が非常に少ない場合に用います。

サイナスリフト法を施術すれば、骨の厚みがほとんどない方にもインプラント治療が可能になります。

【ソケットリフト】

ソケットリフトとは、上顎にイACインプラントを埋める際、上顎洞が近くて少し骨が足りない場合に、上顎洞底粘膜を拳上し、人工骨を補てんすることで骨の厚みを増す手術です。

【人工骨】

インプラントを支える骨が少ない時にインプラントを支える骨を増やすために人工骨を補てんすることがあります。(骨の状態により使用量に差があります)